

世界で広がるインパクト投資の新潮流

アマンダ・オトゥール

目次

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| 1. 世界で注目が高まるインパクト投資 | 5. インパクトと財務リターン・長期的成長の両方を追求 |
| 2. インパクト投資分析の枠組み | 6. 適切な戦略を選ぶ |
| 3. インパクト投資対象企業に二つのカテゴリー | |
| 4. エンゲージメントの重要性 | |

責任投資の中でも、環境問題や社会問題に明確なプラスの効果をもたらすインパクト投資への関心が世界的に高まっている。資産運用会社はインパクト投資の目的を明確に投資家に伝え、この目的を達成するためのプロセスに関与し、財務的および非財務的成果の両方に関して明確に報告する責任がある。本稿では、主に上場株式におけるインパクト投資の意義とSDGsとの関係、その枠組み、投資対象企業のカテゴリーなどについて解説する。

1. 世界で注目が高まるインパクト投資

近年、世界的に社会問題への関心が飛躍的に高まり、質的变化が起きている。気候変動にすでに投じられている経済的および人的コストに加え、気候変動の今後の影響に適応しなければならない緊急性が認識されるにつれ、気候変動に関する議論は今や人々の生活の中でありふれたものとなっている。また、新型コロナウイルス感染症は世界中で社会的不平等を拡大し、医療システムにおける局所的な弱さが世界に影響を及ぼすことを実証している。変革の必要性への覚醒と、より持

続可能で平等な未来への欲求が顕在化している。投資がこうした変化と無縁ではいられない。インパクト投資は、投下資本に対する財務リターンだけでなく、幅広い社会的および経済的目標に対するパフォーマンスを強く要求する投資家の需要に応えようとしている。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（以下、当社）は、1998年、フランスで持続可能な雇用を創出する中小型上場企業に投資し、失業問題に取り組む初の社会的インパクト・マנדートを開始した。現在では、ヘルスケア、気候変動、社会的課題の解決に向け、私募ファンドからグリ



Amanda O'Toole (アマンダ・オトゥール)

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）株式運用チームのグローバル・ポートフォリオ・マネージャー（PM）。クリーンテック戦略のリードPMおよびグローバルテーマ戦略の共同PMを務める。PwCや英ネブスキー・キャピタルのアナリストなどを経て、2011年にアクサIMに、エネルギー、ヘルスケアなどのアナリストとして入社。2017年から現職。英ニューカッスル・アポン・タイン大優等学士（経済）。